

～二人の作曲家シリーズ～

同時代に生きた作曲家に各回二人ずつフォーカスして、その作品と人生に触れるコンサート。

第1回 ヘンデル&バッハ (2023.6.4)

同じ年、同じ国に生まれた二人。バロック時代を代表する彼らの珠玉の作品たち。

第2回 ヴィヴァルディ&テレマン (2025.3.9)

国境を越えて大活躍。多作であった彼らの作品をたっぷり並べて。

♪第3回 ドヴィエンヌ&モーツァルト (2025.11.30)

第4回 ベートーヴェン&フンメル

それぞれのフルート作品の他、ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」をフンメルが編曲した室内楽版をメインに。

第5回 ライネッケ&ドビュッシー

ロマン派最後の作曲家ライネッケと、新しい響きを求めたドビュッシー。とても同時代とは思えない作風の違い。

第6回 タファネル&ゴーベル

フルート吹きにとっては、〇〇&〇〇ときたら、この二人の名手を思い浮かべずにはいられない！

第7回 プロコフィエフ&ガーシュウィン

20世紀の大作作曲家たち。ソナタからポピュラー音楽まで、さまざまな楽曲をお楽しみください。

須藤 遥 (ヴァイオリン) ゲスト

宮城県仙台市出身。名取市在住。4歳よりヴァイオリンを始める。2011年から6年間仙台ジュニアオーケストラに在籍。卒団後ソリストとして共演。

常盤木学園高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部を卒業。これまでにヴァイオリンを、藤川幸、小川有紀子、大谷玲子の各氏に師事。現在東北を拠点に幅広く活動している。

梅津 亮子 (ヴィオラ) ゲスト

仙台市出身。6歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。仙台を中心にソロや室内楽等の演奏活動を行う他、音楽教室で後進の指導にあたっている。

これまでに、ヴァイオリンを勅使河原真実、ゲルハルト・ボッセ、木村恭子、石井志都子、ヴィオラを梅田昌子、マイケル・ザレツキーの各氏から指導を受ける。

金子 遥亮 (チェロ) ゲスト

10歳よりチェロを始める。

桐朋学園大学チェロ科を首席で卒業。全額奨学金を得てスイス・メニューイン国際音楽アカデミー修了。第70回全日本学生音楽コンクール全国第3位。サントリーホール室内楽アカデミー第4期フェロー。チェロを毛利伯郎氏、P.Naveran氏に師事。現在、仙台フィルチェロ奏者。

門脇 麻美 (ピアノ) ゲスト

仙台市出身。宮城学院女子大学音楽科ピアノ専攻卒業し、同大学研究生を修了。

第69回読売新人演奏会、せんくらなど多数出演。

2013年、初のCDとなる【幸せの星の木】をリリース。

現在、同大学附属音楽教室講師の他、ソロ、室内楽ピアニストとして全国各地にて演奏活動を行う傍ら、ピアノコンクール運営にも携わり、日々、新しいことに挑戦中。

池田 緋沙子 (フルート&プロデュース)

宮城教育大学音楽教育専攻卒業。ソロ・室内楽など様々な演奏活動を行っている。2016年ソロリサイタルを開催。

4seasons concert シリーズ (2019-2024)、二人の作曲家シリーズ (2023～) を主催。宮城県芸術協会、日本音楽家ユニオン会員。MHKS アーティスト会員。



←ホームページ

Instagram→



会場周辺地図

